

第17回総務常任委員会議案

日 時 平成22年12月16日(木曜) 時 分
場 所 第1委員会室

1 開 会

2 議 件

(1) 調査事項

ア 芽室町図書館の管理運営体制について

資料1

イ 芽室町総合体育館の耐震診断について

資料2

ウ 委員会の閉会中の継続審査及び調査の申し出について

資料3

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

平成 年 月 日 (曜) 時 分

(2) その他

4 閉 会

メモ

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for handwritten notes or a drawing.

総務常任委員会

資料

平成22年12月16日(木)

3F 第1委員会室

1. 芽室町図書館の管理運営体制について

資料1

2. 芽室町総合体育館耐震診断について

資料2



平成 22 年 12 月 1 日

芽室町図書館長 木村 淳彦 様

芽室町図書館協議会委員長 大石 勉也

芽室町図書館の管理運営体制について (答申)

平成 22 年 3 月 20 日付けで図書館長から諮問のありました芽室町図書館の管理運営体制について、次のとおり答申いたします。

記

- 1 芽室町図書館の管理運営体制は平成 24 年度以降当分の間直営とする。
ただし、今後他の公共図書館における指定管理者制度や一部業務委託等の動向を注視しながら、研究を継続するものとします。
- 2 付帯説明 (答申説明) 及び付帯意見
別紙添付のとおり

答申説明

- 1 指定管理者制度に移行した図書館について財政状況の改善を一番の目的に掲げていたところが多いわけですが、視察の結果、どの館も運営形態の変更で大きな費用削減をもたらしたとは言えないことがわかりました。
- 2 芽室町図書館は人件費を含め運営費用の合理化が進んでおり、指定管理者制度を導入したとしても財政的なメリットはあまり大きくありません。
- 3 芽室町図書館は貸出数や奉仕内容を見ると、現在の直営体制でとても良好な運営が行われていると言えます。
- 4 指定管理者制度導入により利用環境の整備、貸出冊数制限の増加、開館時間の延長などを行い利便が向上した例を視察し、必ずしも指定管理者による図書館運営が直営の図書館運営より劣るわけではないことがわかりました。しかし、受け皿である事業者の資質、地域性や周辺環境など良好な図書館運営には多大に不確定な要素が働いていることを認識しました。
- 5 もし仮に芽室町図書館が指定管理者制度に移行する場合、受け皿の事業者について大きな問題となることが予測されます。
- 6 指定管理者制度を芽室町図書館に当てはめて考えると、上記のような理由で今すぐより良い運営が期待される可能性は低く、当面は現状の運営体制を継続していくなかで奉仕活動を充実させていくことが適切であると判断します。
- 7 芽室町図書館の在り方、将来構想を明確にし、図書館活動を行っていくことが運営形態の検討とともに重要であります。このことについても今後一層研究を深めてください。

以上の点を踏まえた上で、今後の図書館運営を行うようお願いします。

芽室町総合体育館 耐震診断結果について

芽室町総合体育館は耐震診断の第2次診断（耐震性能を詳細に評価する方法で、柱・壁のコンクリート強度、鉄筋量等から建物の強さや粘りを推定する診断方法）を実施しました。

耐震診断では建物の強度や粘りに加え、形状や経年状況を考慮したI s値（構造耐震指標で耐震性能を数値化したもの）を計算します。

耐震改修促進法（平成7年12月施行）ではI s値が0.6以上で地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低いとされていますが、建物の用途や重要度に応じて数値を割り増します。防災拠点となる建物では、一般建物の1.25倍から1.5倍以上のI s値が必要と定めています。（総務省・消防庁）

※公共施設の望ましいとされる用途係数

I s値 0.6 宿舎、共同住宅、車庫等

I s値 0.75 一般庁舎、病院、福祉施設、集会所、体育館等

I s値 0.9 消防署、警察署、防災本部等

参考：学校施設は文部科学省で0.7以上と定めています。

耐震結果は建物のX方向（東西）、Y方向（南北）の地震の揺れに対して耐えられるかで評価します。

※耐震結果（構造判定指標I s値 \geq 0.75）

X方向	1階	0.457	耐震性なし
	2階	0.989	耐震性あり
	3階	0.507	耐震性なし
Y方向	1階	0.565	耐震性なし
	2階	0.817	耐震性あり
	3階	1.317	耐震性あり

アリーナ屋根裏面の鉄骨（水平）ブレースは所要の耐力がなく、耐震性なしと判定されました。

参考：I s値の耐震性能

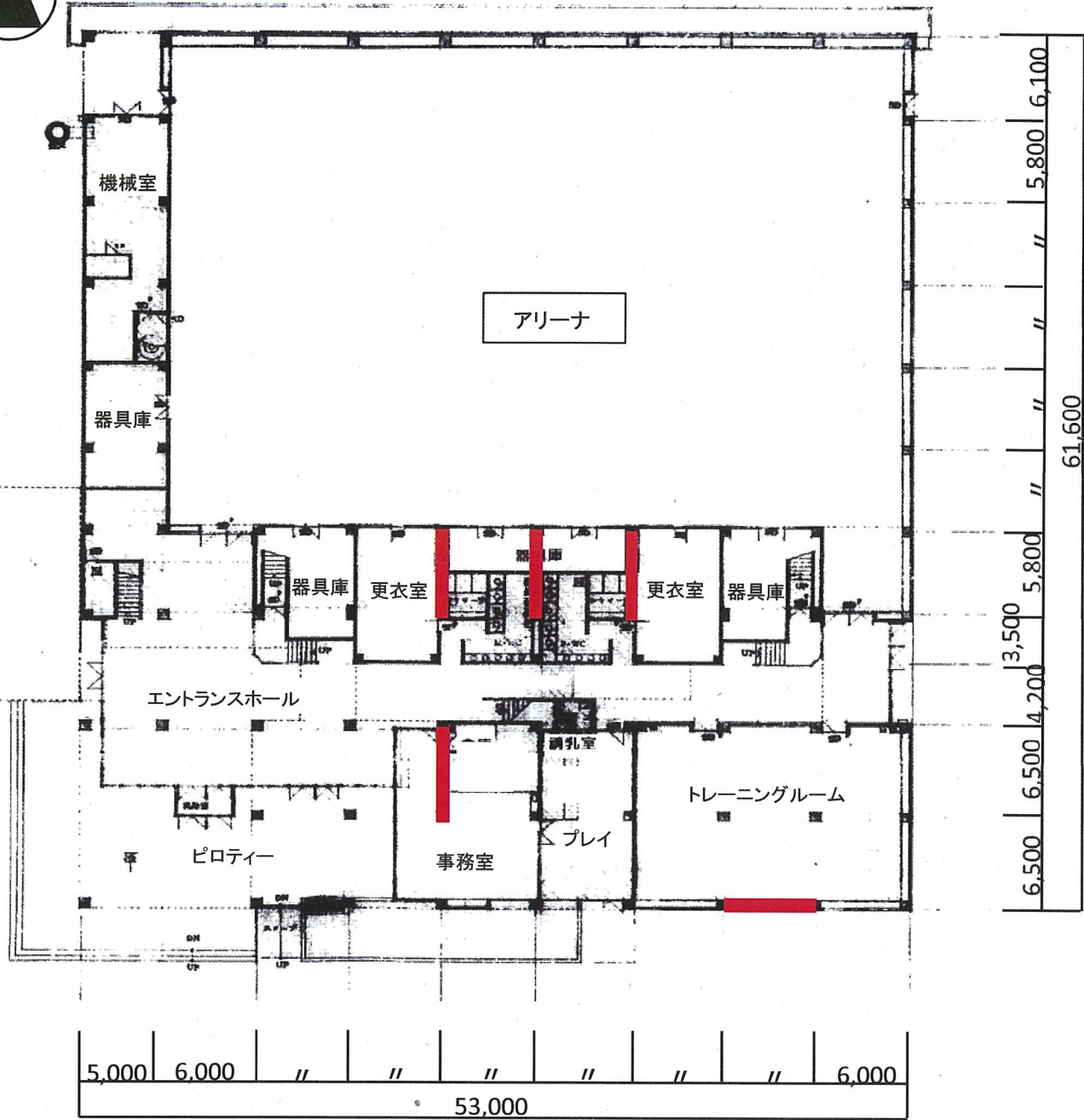
0.3未満	大地震時に倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
0.3以上0.6未満	大地震時に倒壊し、または崩壊する危険性がある。
0.6以上	大地震時に倒壊し、または崩壊する危険性が低い。 現在の基準同等の耐震性能があると考えられている。

芽室町総合体育館 耐震補強 概算工事費

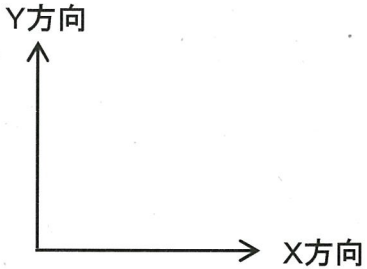
	耐震補強 (I S 値 0.75)
概算工事費	¥251,233,500
補強内容	<p>体育館内部の1階部分に鉄筋コンクリート耐震壁を計5か所及びアリーナ上部の開口部内側(柱間)に鉄骨ブレース6か所の補強工事が必要である。</p> <p>アリーナ屋根裏面の鉄骨(水平)ブレースは所要の耐力がないため、大きい部材に取り替える。</p>



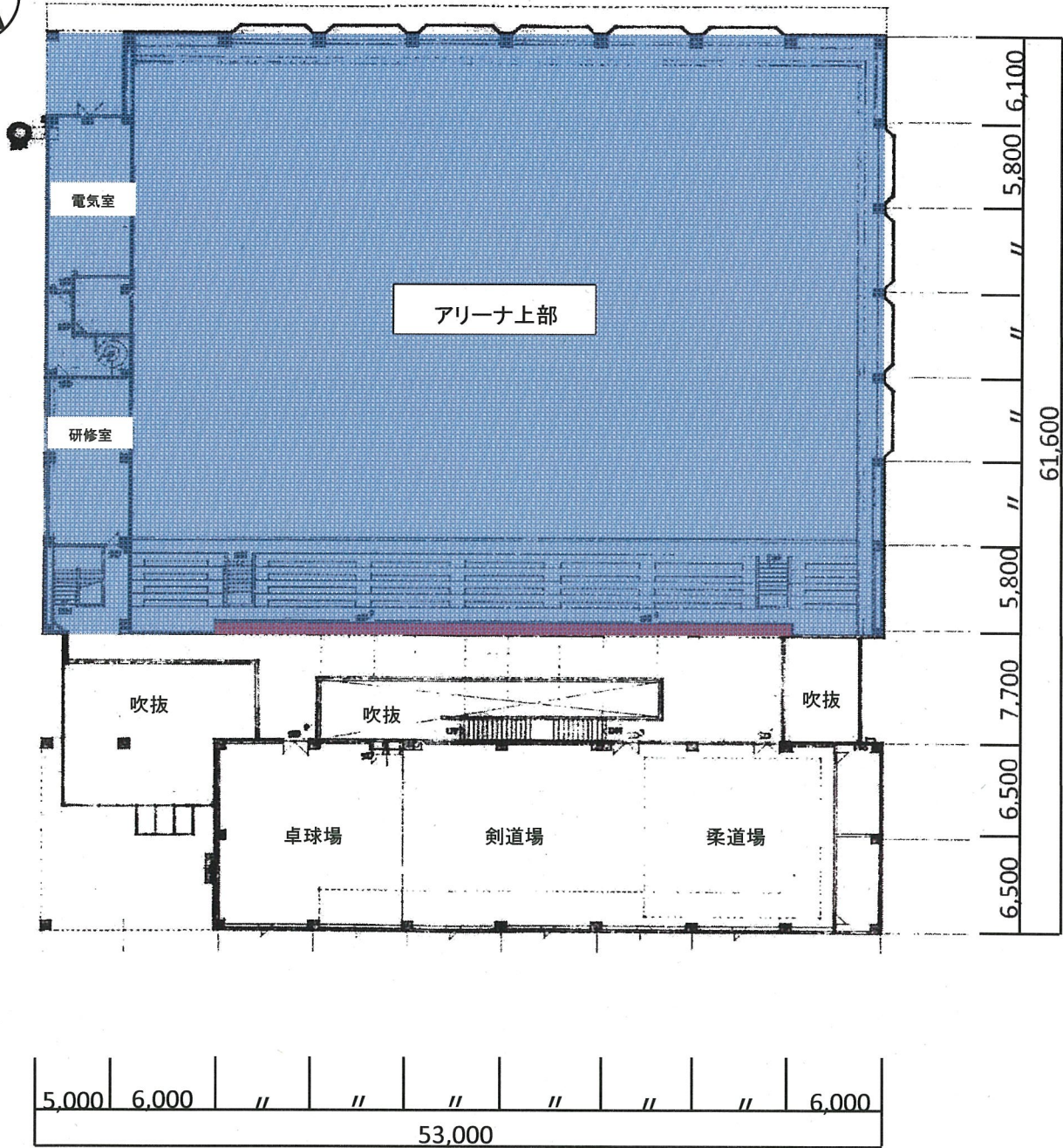
耐震補強案(Is値 0.75)



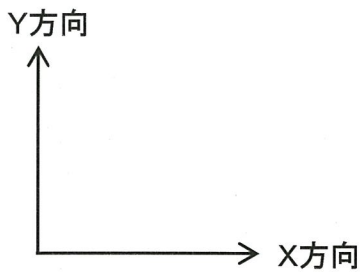
平面図(1階)



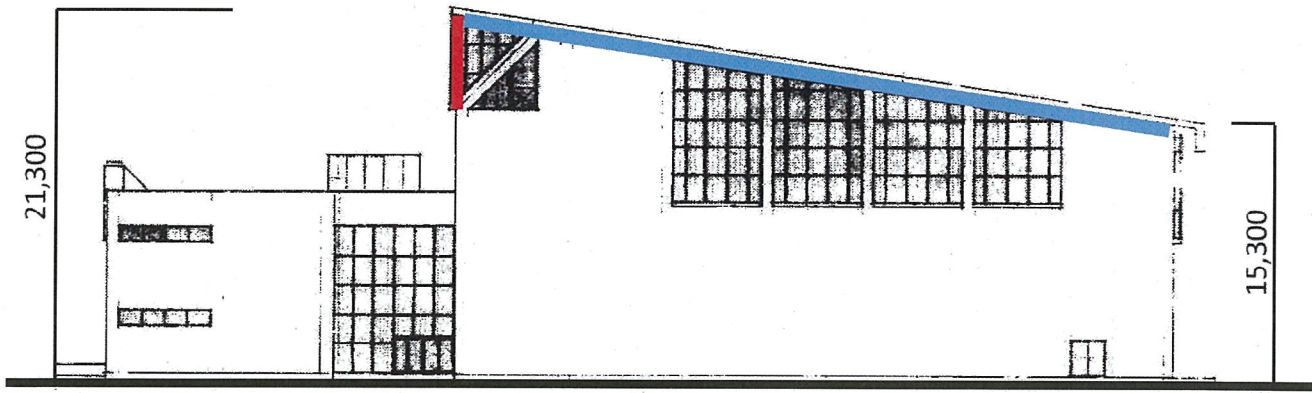
凡例
鉄筋コンクリート補強壁
厚さ 20cm



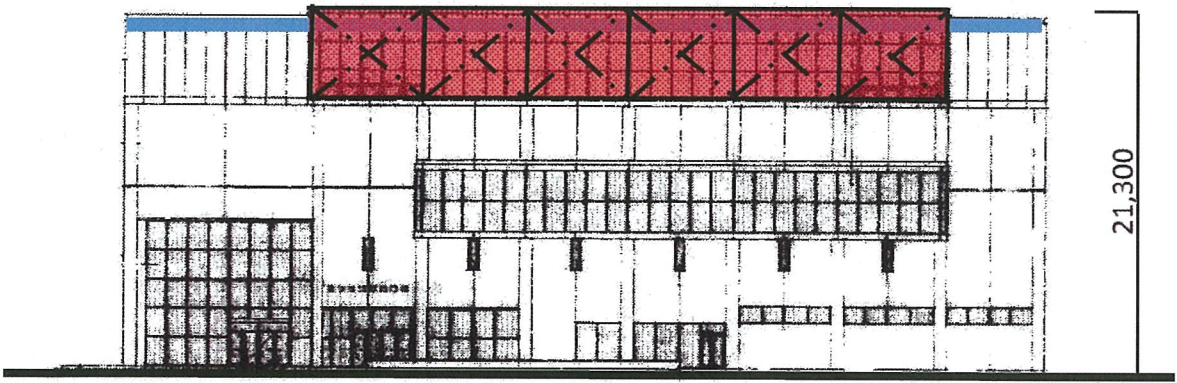
平面図(2階)



- 凡例
- 鉄骨ブレース補強(上部開口部位置)
H型鋼 250×250
 - 鉄骨ブレース補強(屋根裏面)
L型鋼 130×130





立面図(東側)



立面図(南側)

凡例

-  鉄骨ブレース補強(上部開口部位置)
H型鋼 250×250
-  鉄骨ブレース補強(屋根裏面)
L型鋼 130×130

委員会の閉会中の継続調査の申し出について

平成22年第7回町議会定例会

申出 月日	委員会名	審査 ・ 調査	事 件	理 由
12.22	総務常任委員会	調査 〃	・芽室町集中改革プランの取組結果について ・所管に属する事項について	会期中の所管 事務調査が困 難なため

◎昨年提出した「委員会の閉会中の継続審査及び調査の申し出内容」

・平成21年12月18日開催の町議会定例会への申し出内容

申出 月日	委員会名	審査 ・ 調査	事 件	理 由
12.18	総務常任委員会	調査	・所管に属する事項について	会期中の所管 事務調査が困 難なため